

# ★前節の★ベストプレイヤー★

## GK・檜山昇吾(2年)

### ～試合後コメント～

勝てなかったことがもったいなかった。(好セーブは)たまたまだった。DFが寄せてくれたので。(初スタメンは)チームの状況が良くなって勝つことが大事だったので、とても緊張した。(GKのスタメン争いがし烈だが)今日掴めたのは大きい。(引き分けは)勝てたと思うので次頑張りたい。ゴールと前線の距離が遠かった。FWが勝ったら裏へっていうのを徹底してやることはしっかりやりたい。一戦一戦、駒大サッカーを徹底してやっていく。

コマスポ編集部が独自で選ぶベストプレイヤー。初となる今回の選手は、リーグ初先発を果たした檜山選手です。  
「とても緊張した」と試合後には語ったが、ピッチ上では堂々たるものだった。特に輝いたのが試合終了間際のラストプレー。秋田監督も「反応に関して良いキープ。最後はよく止めた」と絶賛する程。  
新戦力ながら頼れるストッパーとなり、勝利こそならなかったが、勝ち点1を掴むことに大きく貢献した。



### <第12節終了時順位表>

	チーム名	勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1	筑波大学	6	4	2	24	13	+11	22
2	専修大学	5	4	3	28	23	+5	19
3	流通経済大学	5	4	3	17	20	-3	19
4	明治大学	5	3	4	23	17	+6	18
5	早稲田大学	5	3	4	18	14	+4	18
6	慶應義塾大学	5	3	4	19	20	-1	18
7	順天堂大学	5	1	6	16	13	+3	16
8	中央大学	4	4	4	20	21	-1	16
9	国士舘大学	4	3	5	18	17	+1	15
10	駒澤大学	3	4	5	14	20	-6	13
11	青山学院大学	3	2	7	14	23	-9	11
12	神奈川大学	2	5	5	10	20	-10	11

# 第13節・筑波大戦プレビュー



前節、慶大との一戦をスコアレスドローで終え後期開幕を白星発進とはいかなかった駒大。しかし7試合ぶりの無失点を成し遂げるなど、まだまだ逆転への望みを残している。その駒大に迎え打つのが、現在首位を独走している筑波大。前期での対戦結果は2-2の同点。ホーム駒沢の地で、集中応援日ということもあり多くの声援を背に奮闘ぶりをみせた。

総失点数13と、総合順位はさながら守備力の高さでも首位に位置し、総得点でも現在2位であり、油断を一切許さない攻撃力を備えている。特に注意すべきが、2年生にしてエースの座を掴んでいるFW赤崎秀平だ。優れた得点感覚の持ち主であり、相手ゴールを幾度となく脅かしにかかる。

順位をみる限りではその差は大きいですが、実力で劣らないことは前期の試合で証明済み。今節こそ勝利を収め上位進出への弾みをつけるとともに、独走態勢の筑波大の足を止めたいところ。駒沢の地で、真の実力を発揮させる。

スピード  
スタミナ  
スピリット

3Sを調教中

